

横浜港(南本牧)

# Minami Honmoku Pier



PORT OF YOKOHAMA

# 南本牧

南本牧ふ頭は横浜港の21世紀における新しい総合物流ターミナルになります。

横浜港は安政6年(1859年)に開港以来130年もの間、世界有数の国際貿易港「ミナトヨコハマ」として君臨してきました。

いま、横浜港はNIES(新興工業国)や発展途上国との貿易が盛んになりこれまでの太平洋、欧州航路の貿易とも相俟って物流体系の転換を伴いながら港湾貨物量が増大し、さらに拡大しようとしています。また、320万都市横浜の魅力ある街づくりを一層進めるために歴史的な港の一部をMM21プロジェクトをはじめ新しいウォーターフロントにつくりかえています。このように港の拡大と質の転換が同時に進むとする時、南本牧ふ頭は大きな役割を担います。

……………「されば港の数多かれど、この横浜にまさるあらめや…

果なく栄えて行くらんみよを飾る宝も入りくる港」…………… 森鷗外



Minami

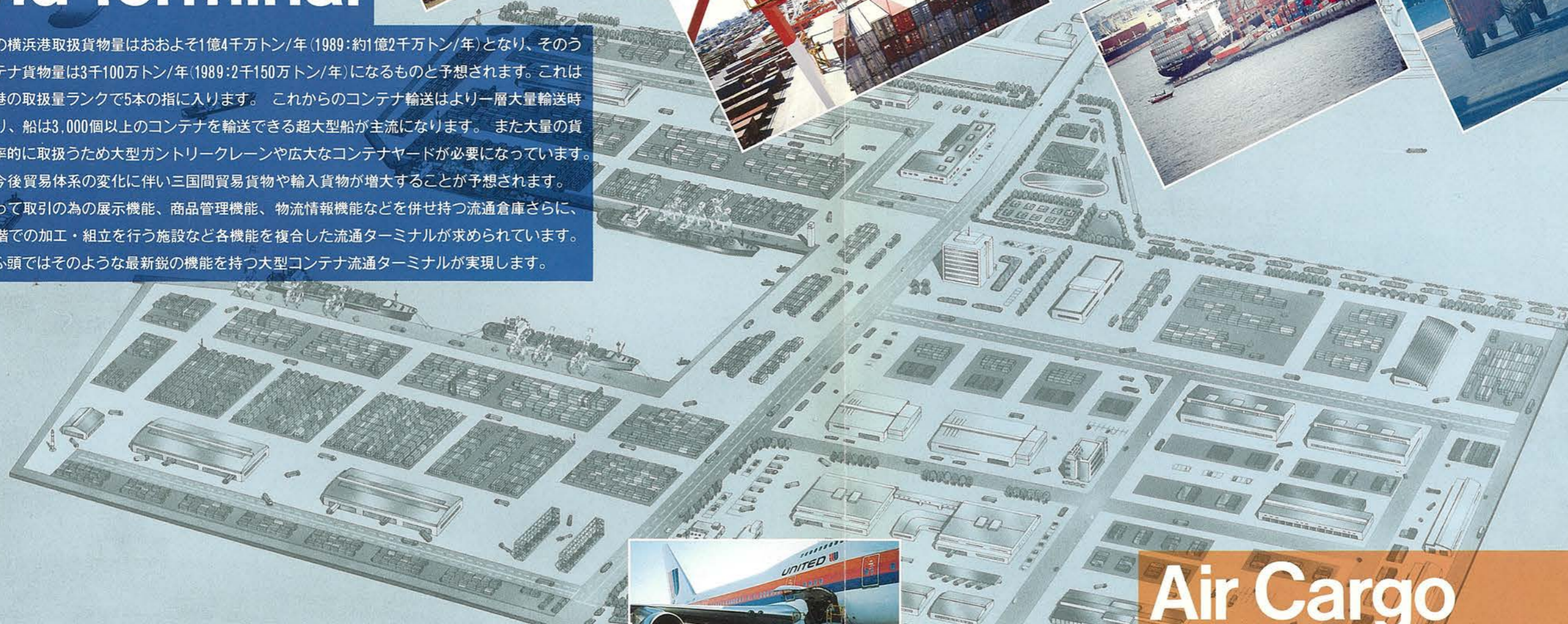
Honmoku

Pier



# Sea Port and Terminal

2000年の横浜港取扱貨物量はおよそ1億4千万トン/年(1989:約1億2千万トン/年)となり、そのうちコンテナ貨物量は3千100万トン/年(1989:2千150万トン/年)になるものと予想されます。これは世界の港の取扱量ランクで5本の指に入ります。これからのコンテナ輸送はより一層大量輸送時代に入り、船は3,000個以上のコンテナを輸送できる超大型船が主流になります。また大量の貨物を効率的に取扱うため大型ガントリークレーンや広大なコンテナヤードが必要になっています。また、今後貿易体系の変化に伴い三国間貿易貨物や輸入貨物が増大することが予想されます。したがって取引の為に展示機能、商品管理機能、物流情報機能などを併せ持つ流通倉庫さらに、流通段階での加工・組立を行う施設など各機能を複合した流通ターミナルが求められています。南本牧ふ頭ではそのような最新鋭の機能を持つ大型コンテナ流通ターミナルが実現します。



# Air Cargo and Transport



横浜港の背後圏の貨物は近年の貿易構造の変化に伴い、高付加価値製品の輸出入が飛躍的に増大しています。2000年には20万トン/年になるものと予想されます。そこで、南本牧には通関機能を有するオフ・エアポートによる国際航空貨物ターミナルを設置することとしております。これにより海上、航空の輸送手段を選択することができ効率的な集中一貫輸送を実現することができます。



土地利用の計画

217ha

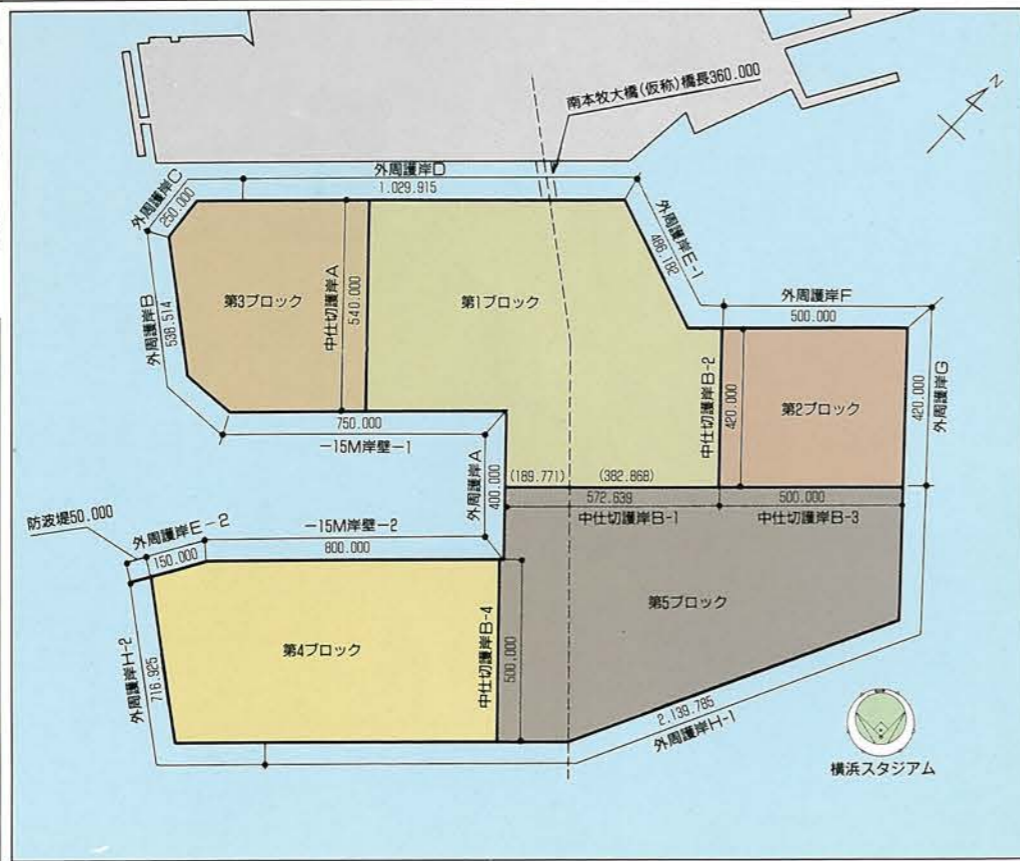
土地利用	面積ha(%)	施設内容
ふ頭用地	56.0 (25.8)	コンテナターミナル ●岸壁 ●コンテナヤード
港湾関連用地	134.2 (61.9)	コンテナ関連用地 ●空コンテナプール ●リースコンテナプール ●シャーシープール等 保管施設用地 ●倉庫等 複合流通ターミナル用地 ●航空貨物ターミナル ●航空貨物上屋等 業務用地 ●業務施設 ●福利厚生施設
緑地	20.8 (9.6)	運河沿い親水緑地 修景緑地
交通機能用地	5.9 (2.7)	道路用地
合計	216.9	



工 程

7,000万m<sup>3</sup>

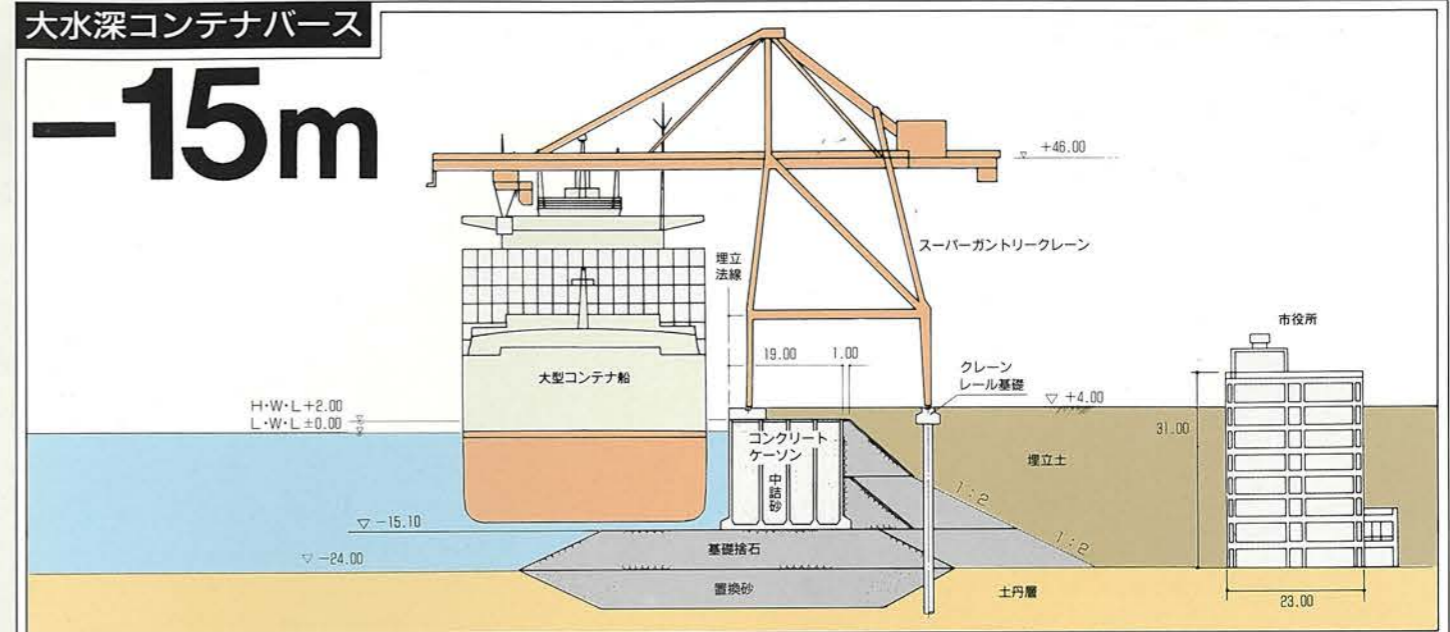
217haの埋立に必要な土砂量は7,000万m<sup>3</sup>になります。これは横浜スタジアムを升にすると約200杯分の量にあたり、5つのブロックに分割し第1ブロックから順次埋立てを行なってゆきます。7,000万m<sup>3</sup>の埋立用材は、横浜市の公共事業から発生する残土や市民生活から排出されるゴミの焼却灰(一般廃棄物)等を充てることにしています。埋立期間は廃棄物を入れる第2ブロックを除いて平成3年度から約10年間を予定しています。



経緯 昭和62年11月 港湾審議会において南本牧ふ頭計画決定  
昭和64年 1月 埋立免許出願  
平成元年 4月 運輸大臣へ認可申請  
平成 2年 1月 運輸大臣認可、免許取得  
平成 2年 2月 工事着手

大水深コンテナバース

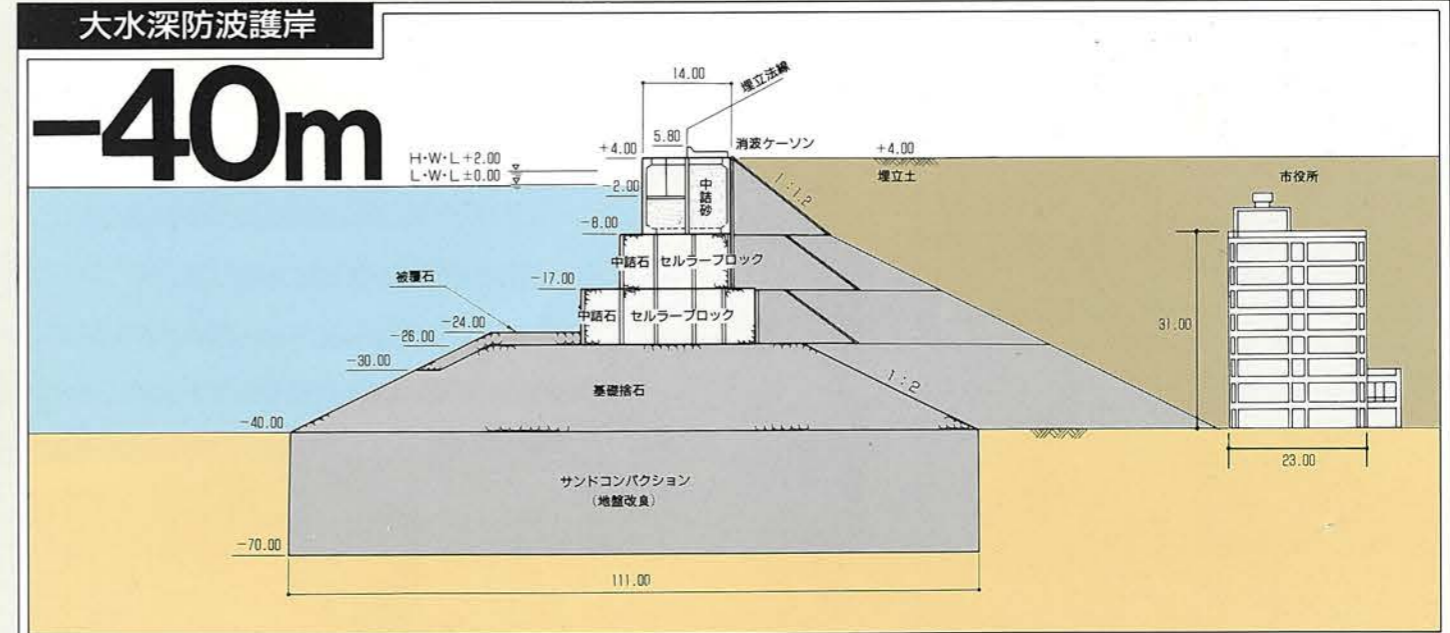
-15m



60,000D/Wまでの超大型コンテナ船が接岸できる-15m大水深コンテナ岸壁を整備します。また、この岸壁には大型ガントリークレーンが1バースあたり3基設置されます。これらによって1バースあたり約200万トン/年のコンテナ貨物の取扱いが可能になります。

大水深防波護岸

-40m



南本牧の護岸は最大で-40mという大水深に加え、海底面に厚さ約30mにも及ぶ軟弱地盤の上に築造されます。これは世界でも例を見ない港湾構造物となります。

## 横浜市港湾局

企画・発行 平成3年10月 〒231 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル5F Tel.045-671-7305 南本牧ふ頭事業調整担当課